

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成30年3月19日（月）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づきまして、私から補足説明を申し上げます。

まず、1ページ目、1. (1) 第74回原子力規制委員会が、明日、3月20日火曜日午前中に開催される予定でございます。議題は7件予定されております。

まず、議題1「日本原子力研究開発機構原子炉廃止措置研究開発センター新型転換炉原型炉施設の原子炉設置変更許可申請に関する審査結果等について」。こちらの内容でございますが、原子力研究開発機構のふげんにつきまして、2月末に使用済燃料の処分方法の変更に係る設置変更許可の申請が提出されております。これに対する審査結果の取りまとめ及び原子力委員会等への意見聴取につきまして、委員会にお諮りをするというものでございます。

続きまして、議題2「リアルタイム線量測定システムの配置の見直しについて」。こちらの内容でございますが、福島県内の線量の推移等を踏まえまして、福島県内に設置しているリアルタイム線量測定システムの配置を見直す方針の案につきまして、委員会にお諮りをするというものでございます。

続きまして、議題3「原子力施設情報システムセキュリティ対策ガイドラインの策定について」。こちらは、先般開催されました委員会の臨時会議を踏まえまして、本件ガイドラインが策定されたところでございますが、このガイドラインについて、事業者に対する周知・指導など今後の対応について、委員会にお諮りをするというものでございます。

続きまして、議題4「平成29年度原子力総合防災訓練の実施成果について」。こちらは昨年9月3日及び4日に玄海原子力発電所を対象として原子力総合防災訓練を実施したところでございますが、その成果の概要を取りまとめ、委員会に御報告をするというものでございます。こちらは内閣府の原子力防災担当から委員会への報告という形になります。

続きまして、議題5「安全文化に係るガイド及び原因分析に係るガイドの検討状況について」。こちらは規制に係る人的組織的要因に関する検討チームにおきまして、今申し

上げました2種類のガイドの検討を進めてきているところでございます。その検討の状況及び今後のスケジュールについて、委員会に御報告をするというものでございます。

続きまして、議題6「IRRSにおいて明らかになった課題の進捗状況について」。こちらの内容でございますが、IRRSにつきましては、今後、フォローアップミッションの受け入れに向けて準備が進んでいくということでございますが、そうした準備を進めていくに当たりまして、現時点での課題への対応の進捗状況について整理をして、規制委員会に御報告をするというものでございます。

最後、議題7「米国出張報告について」。こちらはアメリカにおきまして3月12日～15日に開催されました規制情報会議、「RIC」と呼ばれておりますが、こちらに山中委員が出席をされましたところ、委員からその概要について、委員会に対し報告をいただくというものでございます。

広報日程の2ページ目を御覧いただきたいと存じます。

中段、3月22日木曜日、(4)の審査会合についてでございます。こちらの議題の内容として、2件の審査を予定してございます。

まず、1点目は、九州電力・川内原子力発電所及び玄海原子力発電所の保安規定に係る審査を予定しております。内容でございますが、昨年11月の委員会で決定された規則改正を受けまして、火山灰への対応について保安規定に盛り込むということとされており、その保安規定の変更の申請が提出されております。その概要について今回は聴取を行うという予定でございます。

次に、2点目の議題といたしまして、東北電力・女川発電所2号機につきましの審査を予定しております。内容としては、不法な侵入への対策及び炉心損傷の防止対策につきまして説明を聴取し、議論するということが予定されております。

続きまして、同じく2ページ目中段、3月23日金曜日、(5)の審査会合についてでございます。議題は記載のとおり2件予定されております。

まず、1点目といたしまして、東北電力・女川発電所の地震動評価につきまして、こちらは基準地震動の年超過確率について、コメントへの回答を予定しております。

次に、議題2といたしまして、電源開発株式会社・大間発電所の敷地内の地質・地質構造について、コメント回答という予定でございます。

続きまして、2ページ目下段、3月26日月曜日、(7)の核燃料施設等に係る審査会合でございます。こちらは、議題といたしまして、日本原電株式会社の廃棄物埋設施設、東海の施設でございますが、こちらの事業許可申請に係る審査ということをご予定しております。内容としては地盤・地震・津波関係についての審査ということが予定されているところでございます。

最後に、広報日程の3ページ目に国際会議の予定を1件御紹介してございます。

OECD/NEA（経済協力開発機構原子力機関）でございますが、こちらの第2回の安全文化ワーキンググループが3月26日月曜日～28日水曜日にかけて、こちらは日本で規制委員

会のこちらのビルにて開催される予定でございます。こちらは伴委員が議長を務めるワーキンググループでございます。その開催の予定をお知らせ申し上げます。

私からの御説明は以上でございます。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問の方をお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。いらっしゃいますか。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—